

科目名	保健体育(硬式テニス)	英語科目名	Physical Education
開講年度・学期	平成27年度・後期	対象学科・専攻・学年	4年 全学科 種目選択制
授業形態	実技および講義	必修 or 選択	必修
単位数	2	単位種類	履修単位(30h)
担当教員	長田朋樹	居室(もしくは所属)	講義棟1F
電話	内線185	E-mail	t-nagata1094@小山高専ドメイン
授業の到達目標	授業到達目標との対応		
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE 基準
1. テニスの基本技術(グリップの握り方、ストロークの仕方など)およびルールやマナーを身につけラリーを楽しむことができる。	⑥	E	d-4, f, i
2. 選択体育の特徴を活かし、より高度なパフォーマンスを目指して個人的技能及び集団的スキルを洗練し仲間とともに課題解決に取り組むことができる。			
3. リーグ戦の中で攻撃の仕方などを工夫して得点を積み重ねる面白さを感じることができる。			
4. トスサービスを実践することができる。			
5. スポーツの知識について理解・説明することができる。			
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1-3. 練習およびゲームのプレー内容(毎時間のゲーム記録票または個人ワークシートの内容)等から総合的に判断し評価する。			
4. スキルチェックにより評価する。			
5. レポート課題の内容から総合的に判断し評価する。			
評価方法			
1. 実技点(スキルチェック、ゲーム時のプレー内容)35%			
2. 課題レポートの内容:15%			
3. 授業態度(遅刻、忘れ物、服装、授業参加度、授業意欲など):50%			
授業内容			
種目選択およびガイダンス【1週】			
テニス【14週】			
①グリップの握り方、用具に慣れる【1週】			
②フォアハンドストロークとバックハンドストローク【2週】			
③サービスの練習・ノック練習(ボレーなど)【2週】			
④ダブルスによるリーグ戦および審判法【5週】			
⑤シングルスによるリーグ戦【3週】			
⑥スキルチェック【1週】			
⑦テニスを科学する(雨天時など)			
講義【雨天時等】			
障がい者スポーツ、オリンピック等について			
※ゲームは状況に応じて各週に実施していく			
※雨天時は、室内での講義を行う			
※授業内容は、進捗状況や天候などにより一部変更することがある			
キーワード	テニス、パフォーマンス向上、コミュニケーションスキル向上、スポーツ科学		
	特になし		
参考書	特になし(※保健および室内での授業においては教材を教員が用意する)		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	保健体育		
現学年の関連科目	保健体育		
次年度以降の関連科目			
連絡事項			
○保健体育は出席することが前提条件である(保健体育の規定欠課数を超える者については評価の対象にしない)			
1. 基本的には実技中心とするが、雨天時等には室内において講義を行う。			
2. 授業では、学校指定のジャージ、Tシャツ、短パンおよび運動靴を必ず着用すること。それ以外は一切認めない。			
3. 授業時の無駄な私語、身勝手な行動、途中退出および非協力的態度などをとる学生に対しては単位を与えない。			
4. 週番は、授業前までに教員室にて連絡事項を聞きクラスに伝達する。また出席簿を持参し、用具等の準備をする。			
5. 12月、1月については、ジャージの下にウィンドブレーカーの着用を許可する			
シラバス作成年月日	平成27年2月19日		